

平成24年9月3日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成24年7月13日付け厚生労働省発食安0713第2号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくトリフルラリンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

トリフルラリン

今般の残留基準の検討については、魚介類への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：トリフルラリン [Trifluralin (ISO)]

(2) 用途：除草剤

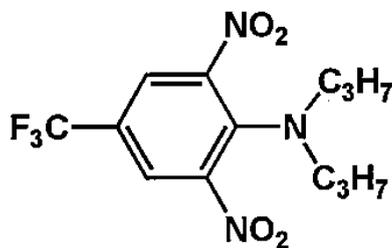
ジニトロアニリン系の土壌処理型除草剤である。発芽時に幼芽及び幼根から吸収され、細胞分裂時に紡錘体の機能を阻害することにより細胞分裂を抑制し、植物を枯死させるものと考えられている。

(3) 化学名

α, α, α -trifluoro-2,6-dinitro-*N,N*-dipropyl-*p*-toluidine (IUPAC)

2,6-dinitro-*N,N*-dipropyl-4-(trifluoromethyl)benzenamine (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{13}H_{16}F_3N_3O_4$
分子量	335.3
水溶解度	0.194 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 5.27$ (20°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

①44.5%トリフルラリン乳剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
ぶどう もも なし	一年生雑草 (ツユクサ、 カヤツリグサ、 キク・アブラナ 科を除く)	春～秋期雑草発生前 但し、収穫 30 日前まで	—	300～400 mℓ/10a	100ℓ /10a	2 回 以内	土壌 表面 散布	—	2 回以内
りんご		春期雑草発生前 但し、収穫 150 日前まで				1 回			1 回
ブロッコリー		定植前 (植穴掘前)		200～300 mℓ/10a		2 回 以内	土壌 表面 散布		2 回以内
キャベツ (移植栽培) はくさい (移植栽培)		定植直後							
キャベツ (直播栽培) はくさい (直播栽培) なたね		は種直後		200～300 mℓ/10a		2 回 以内	土壌 表面 散布		2 回以内
レタス (露地栽培) 非結球レタス (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)							
ねぎ わけぎ		定植後雑草発生前 但し、収穫 30 日前まで		200～300 mℓ/10a		2 回 以内	土壌 表面 散布		2 回以内
らっきょう (露地栽培)		植付後、春期雑草発生前 但し、収穫 120 日前まで							
トマト (露地栽培) ミニトマト (露地栽培) ピーマン (露地栽培) とうがらし類 (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)		200～300 mℓ/10a		1 回	畦間 土壌 表面 散布		1 回
すいか (トンネル栽培)		定植直後							
		すいか (トンネル栽培)		定植前 (植穴掘前) (マルチ前)		200～300 mℓ/10a	2 回 以内		土壌 表面 散布
収穫 45 日前までの生育期 (トンネル除去前)				畦間 土壌 表面 散布					

①44.5%トリフルラリン乳剤（つづき）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
すいか (露地栽培)	一年生雑草 (ツユクサ、 カヤツリグサ、キク・アブラナ科を除く)	定植キャップ後 但し、収穫45日前まで	-	200 ~ 300ml/10a	100ℓ /10a	2回以内	土壌表面 散布	-	2回以内
漬物用すいか (トンネルマルチ栽培)		定植前 (植穴掘前) (マルチ前)				1回			1回
メロン (露地栽培 (トンネルマルチ栽培))		収穫45日前までの生育期 (トンネル除去前)		150~200 ml/10a		2回以内	畦間 土壌表面 散布		2回以内
漬物用メロン (露地栽培 (トンネルマルチ栽培))		定植前 (植穴掘前) (マルチ前)		200~300 ml/10a		1回	土壌表面 散布		1回
ズッキーニ		定植直後		150~200 ml/10a			畦間 土壌表面 散布		
しろうり (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)		300ml/10a		1回	土壌表面 散布		1回
きゅうり (露地栽培 (直播栽培))		は種直後		150~200 ml/10a			畦間 土壌表面 散布		
きゅうり (露地栽培 (移植栽培))		定植前(植穴掘前)		200~250 ml/10a		1回	土壌表面 散布		
なす (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)		200~300 ml/10a		1回	土壌表面 散布		1回
実えんどう (露地栽培) さやえんどう (露地栽培)		は種直後		300ml/10a					
さやいんげん (露地栽培)		は種前 (マルチ前)		200~300 ml/10a		1回	土壌表面 散布		1回
さやいんげん (露地・マルチ栽培)		は種直後		150~200 ml/10a					
だいこん (露地栽培) はつかだいこん (露地栽培)		は種直後		150~200 ml/10a					

①44.5%トリフルラリン乳剤（つづき）

作物名	適用 雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量		本剤の 使用 回数	使用 方法	適用 地帯	トリフルラリン を含む 農薬の総 使用回数
				薬 量	希積 水量				
にんじん ごぼう (露地栽培) 葉ごぼう (露地栽培)	一年生雑草 (ツユクサ、 カヤツリグサ、キ ク・アブラナ科 を除く)	は種直後	—	200～300 ml/10a	100ℓ /10a	1回	土壌 表面 散布	—	1回
しょうが 葉しょうが		植付直後				2回 以内			2回以内
たまねぎ (本畑)		定植後 但し、収穫75日前まで							
アスパラガス		萌芽前、収穫打切後 (雑草発生前)				2回 以内	3回以内 (挿苗前 は1回以 内、挿苗 後は2回 以内)		
かんしょ		挿苗前 雑草発生前							土壌 表面 散布 又は 畦間 土壌 表面 散布
		挿苗後 雑草発生前 但し、収穫60日前まで				1回	1回		
さといも		植付後 但し、植付7日後まで		300～400 ml/10a		1回	土壌 表面 散布		1回
やまのいも (むかご)		植付直後		200～300 ml/10a		1回	畦間 土壌 表面 散布		
		生育初期 但し、植付30日後まで					土壌 表面 散布		
らっかせい		は種直後		200ml/10a		2回 以内	土壌 表面 散布		2回以内
だいず えだまめ		は種後発芽前							
		定植前(植穴掘前)							
なばな類 (移植栽培)	生育期 但し、収穫45日前まで	200ml/10a	1回	畦間 土壌 表面 散布	1回				
	定植直後								
なばな類 (直播栽培) 非結球あぶら な科葉菜類	は種直後	150～200 ml/10a	1回	土壌 表面 散布	1回				
かぶ	150ml /10a								

①44.5%トリフルラリン乳剤（つづき）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
食用べにばな(花)	一年生雑草 (ツユクサ、 カヤツリクサ、キク・アブラナ科を除く)	は種直後	—	300 ml/10a	100ℓ /10a	1回	土壌表面 散布	—	1回
みつば べにばないんげん		は種後発芽前							
ひまわり(種子)		定植前(植穴掘前)							
はなっこりー (移植栽培)		定植後 但し、収穫21日前まで		200~300 ml/10a		1回	畦間 土壌 表面 散布		2回以内 (定植 前は1 回以内、 定植後 は1回 以内)
		定植前 (植穴掘前) (刈前)							
まくわうり (露地栽培(トンネル・マルチ栽培))		収穫45日前までの生育期 (シ除草前)		200~300 ml/10a		1回	畦間 土壌 表面 散布		2回以内 (定植 前は1 回以内、 生育期 は1回 以内)
		植付直後、 中耕培土直後 (萌芽前)							
こんにやく		1番茶発芽前、 摘採後 (雑草発生前) 但し、摘採40日前まで		300~400 ml/10a		2回 以内	土壌 表面 散布		2回以内
にんにく		植付後、 春期中耕除草後 但し、収穫90日前まで	300ml/10a	1回		全域			
	植付前								
麦類 (小麦を除く)	は種後発芽前 (雑草発生前)	200~300 ml/10a	2回 以内	全域 (北海 道を除く)					
	一年生 イネ科雑草				中耕除草後 (雑草発生前) 但し、収穫45日前まで	砂 壤 土 と 埴 土			

①44.5%トリフルラリン乳剤（つづき）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
小麦	一年生雑草 (ツクサ、 カヤツリグサ、キ ク・アブラナ科 を除く)	は種後発芽前 (雑草発生前)	砂壤土 ～ 埴土	200～300 ml/10a	100ℓ/10a	2回 以内	土壌 表面 散布	全域 (北海 道を除く)	2回以内
	一年生 イネ科雑草	中耕除草後 (雑草発生前) 但し、収穫 45 日前ま で						北海道	
	一年生雑草 (ツクサ、 カヤツリグサ、キ ク・アブラナ科 を除く)	は種後発芽前 (雑草発生前)							
	一年生 イネ科雑草	小麦発芽後～3葉期 (イネ科雑草1葉期 まで)						雑草 茎葉 散布 又は 土壌 表面 散布	
あずき	一年生雑草 (ツクサ、 カヤツリグサ、キ ク・アブラナ科 を除く)	は種後発芽前	—	300ml/10a	1回	土壌 表面 散布	北海道を 除く全域	1回	
いんげんまめ	一年生 イネ科雑草	は種後 6 日～ 発芽 2 日前まで	—				北海 道		
直播水稻	ハビエ	乾田直播の は種後発芽前 (ノビエ発生前) (入水 15 日前まで)	壤土 ～ 埴土	300ml/10a	1回	土壌 表面 散布	乾田 状態 で 土壌 表面 散布	関東 以西	
ふき	一年生雑草 (ツクサ、 カヤツリグサ、キ ク・アブラナ科 を除く)	定植直後	—				土壌 表面 散布	—	

②2.5%トリフルラリン粒剤

作物名	適用 雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用 地帯	トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数
キャベツ (移植栽培)	一年生雑 草(ツクサ、 カヤツリグサ、 キク・アブラナ 科を除く)	定植前 (植穴掘前)	—	4~6kg /10a	1回	土壌表 面散布	—	1回
ブロッコリー (移植栽培)				4kg/10a				
はくさい (移植栽培)		は種直後		3~5kg /10a				
はくさい (直播栽培)				4kg/10a				
なばな (移植栽培)				3kg/10a				
なばな (直播栽培)				4~5kg /10a				
みずな (直播栽培)				3~4kg /10a				
なたね		定植前 (植穴掘前)		4~5kg /10a	2回 以内	—		2回 以内
レタス (トンネル・マルチ栽培)		定植前 (植穴掘前)		3~4kg /10a				
非結球レタス (トンネル・マルチ栽培)		定植後雑草発生前 但し、収穫30日前まで		4~5kg /10a	1回	—		1回
ねぎ わけぎ あさつき		定植前 (植穴掘前)		4~6kg /10a				
トマト (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)		2~4kg /10a	2回 以内	畦間土 壌表面 散布		2回 以内
ミニトマト (露地栽培)		定植キヤップ後 (雑草発生前) 但し、収穫75日前まで		4~5kg /10a				
ゆうがお		定植前 (植穴掘前)		4~5kg /10a	1回	土壌表 面散布		1回
漬物用すいか (トンネル・マルチ栽培)		定植前 (植穴掘前)		2~3kg /10a				
すいか (トンネル・マルチ栽培)	収穫45日前までの 生育期 (トンネル除去前)	4~5kg /10a	2回 以内	畦間土 壌表面 散布	2回 以内			
漬物用メロン (露地栽培 (トンネル・マルチ栽 培))	定植前 (植穴掘前)	2~3kg /10a						
メロン (露地栽培 (トンネル・マルチ栽 培))	定植前 (植穴掘前)	4~5kg /10a	2回 以内	畦間土 壌表面 散布	2回 以内			
	収穫45日前までの 生育期 (トンネル除去前)	2~3kg /10a						

②2.5%トリフルラリン粒剤（つづき）

作物名	適用 雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用 地帯	トリフルラリン を含む農 薬の総使 用回数
かぼちゃ (トンネル・マルチ栽培)	一年生 雑草 (ユキサ、 カヤツリゲ サ、キク・ア ブラナ科 を除く)	定植前（植穴掘前） （マルチ前）	—	2kg/10a	2回 以内	土壌表面 散布	—	2回 以内
		収穫45日前までの生育 期（トンネル除去前）		4～5kg /10a		畦間土壌 表面 散布		
とうがん (露地栽培) とうがん (トンネル栽 培)		収穫45日前 までの生育期		5kg/10a	1回	土壌表面 散布		1回
なす (露地栽培)		定植前 (植穴掘前)		4～5kg /10a		畦間土壌 表面 散布		
		定植直後			土壌表面 散布			
さやいんげん (露地栽培)		は種直後		4～6kg /10a	1回	土壌表面 散布		1回
さやいんげん (露地・マルチ栽 培)		は種前 (マルチ前)						
にんじん		は種直後		6kg/10a	1回	土壌表面 散布		1回
しょうが 葉しょうが		植付直後						
みょうが (花穂)		萌芽前(雑草発生前)		4～5kg /10a	2回 以内	畦間土壌 表面 散布		2回 以内
みょうが (茎葉)		萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)						
たまねぎ (本畑)		定植後		4～5kg /10a	2回 以内	土壌表面 散布		1回
	生育期（春期） 但し、収穫75日前まで							
ばれいしょ	植付後～萌芽前	3～4kg /10a	2回 以内	土壌表面 散布又は 畦間土壌 表面散布	3回以内 (挿苗前 は1回以 内、挿苗 後は2回 以内)			
かんしょ	挿苗前雑草発生前							
	さといも	挿苗後 雑草発生前 但し、収穫60日前まで	4～6kg /10a	1回	土壌表面 散布	1回		
植付後、 但し、植付7日後まで								
やまのいも (むかご)	植付直後	4～6kg /10a	1回	畦間土壌 表面散布	1回			
	生育初期 但し、植付30日後まで							

②2.5%トリフルラリン粒剤（つづき）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数					
らっかせい	一年生雑草 (ツユクサ、 カヤツリグサ、 キク・アブラナ科を除く)	は種直後	-	3~6kg /10a	1回	土壌表面散布	-	1回					
こんにやく		植付直後、 中耕培土直後（萌芽前）		4~6kg /10a	2回 以内			土壌表面散布	-	2回以内			
らっきょう (露地栽培)		植付後、 春期雑草発生前 但し、収穫120日前まで		4~5kg /10a									
茶		一番茶発芽前、摘採後 (雑草発生前) 但し、摘採40日前まで		4~6kg /10a							1回	全域 (北海道を除く)	1回
あずき		は種後発芽前	5kg/10a		2回 以内	全域	2回以内						
にんにく		植付前	火山 灰土	4kg/10a	1回			全域 (北海道を除く)	1回				
		植付後、 春期中耕除草後 但し、収穫90日前まで											
陸稲		は種後発芽前	砂壤 土~ 埴土	4~5kg /10a	2回 以内	土壌表面散布	全域 (た だし、 大麦 は北 海道 を除 く)	2回以内					
麦類		中耕除草後 雑草発生前 但し、収穫45日前まで							一年生 イネ科 雑草	全域 (北 海道 を除 く)	1回	全域	1回
		定植前 (植穴掘前)											
きゅうり (露地栽培 (移植栽培))	一年生 雑草 (ツユクサ、 カヤツリグサ、 キク・ア ブラナ科 を除く)												

②2.5%トリフルラリン粒剤（つづき）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリフルラリンを含む農薬の総使用回数
きゅうり （露地栽培 （直播栽培））	一年生雑草（ツユクサ、カヤツリグサ、キ・アブラナ科を除く）	は種直後	壤土～埴土	3～4Kg/10a	1回	土壌表面散布	全域	1回
直播水稻	ノビエ	乾田直播のは種後発芽前（ノビエ発生前）（入水15日前まで）		4～5kg/10a		乾田状態で土壌表面散布	関東以西	1回
さといも（葉柄）	一年生雑草（ツユクサ、カヤツリグサ、キ・アブラナ科を除く）	植付後（マルチ前） 但し、植付7日後まで	—	4～6kg/10a		土壌表面散布	—	1回
さんしょう（葉）		定植後雑草発生前 但し、定植7日後まで		5kg/10a				
だいず えだまめ	一年生雑草（ツユクサ、カヤツリグサ、キ・アブラナ科を除く）	は種後発芽前	砂壤土～埴土	4～6Kg/10a	2回以内	畦間土壌表面散布	全域（北海道を除く）	2回以内
		定植前（植穴掘前）						
		生育期 但し、収穫45日前まで						

（2）海外での使用方法（米国）

44.5%トリフルラリン乳剤

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法
からし菜	広葉雑草	植付前	0.75 lb ai/A	土壌散布

3. 作物残留試験

（1）分析の概要

①分析対象の化合物

トリフルラリン

②分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムで精製し、ガスクロマトグラフ（ECD 又は NPD）で定量する。

定量限界：0.001～0.05ppm

（2）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙 1-1 を、海外で実施された作物残留試験の結果については別紙 1-2 を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が非水田においてのみ使用されることから、非水田PECtier1^{注2)}を算出したところ、非水田PECtier1は0.016 ppbとなった。

(2) 生物濃縮係数

¹⁴Cで標識したトリフルラリン（0.0059ppm）を用いた、28日間の取込期間及び14日間の排泄期間を設定したブルーギルの魚類濃縮性試験が実施された。トリフルラリンの分析の結果からBCFk^{注3)}は5674と算出された。

(3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、トリフルラリンの水産動植物被害予測濃度：0.016 ppb、BCF：5674とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.016 \text{ ppb} \times (5674 \times 5) = 453.92 \text{ ppb} \approx 0.45 \text{ ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注3) BCFk：被験物質の取込速度定数と排泄速度定数から求められたBCF。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項及び第2項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたトリフルラリンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：2.4 mg/kg 体重/day
(動物種) イヌ
(投与方法) 経口（カプセル）
(試験の種類) 慢性毒性試験
(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.024 mg/kg 体重/day

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国において大豆、とうもろこし等に、カナダにおいてあんず、アスパラガス等に、EUにおいてアスパラガス、セロリ等に、オーストラリアにおいてにんじん、ばれいし

よ等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

トリフルラリンとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてトリフルラリン（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までトリフルラリンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	13.5
幼小児（1～6歳）	26.6
妊婦	11.9
高齢者（65歳以上）	12.7

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

トリフルラリン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
乾田直播水稲 (玄米)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	159日	圃場A : <0.002
					141日	圃場B : <0.002
乾田直播水稲 (玄米)	2	2.5%粒剤	5kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	163日	圃場A : <0.002
					157日	圃場B : <0.002
水稲(成苗移植) (玄米)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 移植20日後・土壌表面散布	1回	70日	圃場A : <0.002(#) ^{注2)}
					121日	圃場B : <0.002(#)
陸稲 (玄米)	2	2.5%粒剤	5kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	138日	圃場A : 0.006(#)
					120日	圃場B : <0.001(#)
小麦 (脱殻種子)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	243日	圃場A : <0.002(#)
					191日	圃場B : <0.002(#)
小麦 (脱殻種子)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 小麦約4葉期・土壌表面散布	1回	249日	圃場A : <0.002(#)
					142日	圃場B : <0.002(#)
小麦 (玄麦)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前及び生育期 ・土壌表面散布	2回	45, 60, 90日	圃場A : <0.01
					44, 60, 90日	圃場B : <0.01(2回, 60日)
大麦 (子実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	173日	圃場A : <0.002(#)
					201日	圃場B : <0.002(#)
大麦 (子実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	188日	圃場A : <0.002(#)
					225日	圃場B : <0.002(#)
大麦 (子実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 大麦3.5~4葉期・土壌表面散布	1回	125日	圃場A : <0.002(#)
						圃場B : <0.002(#)
大麦 (子実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前及び生育期 ・土壌表面散布	2回	46, 61, 91日	圃場A : <0.01
					44, 53, 90日	圃場B : <0.01(2回, 53日)
すいか (果実)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植前・土壌表面散布	1回	110日	圃場A : <0.002(#)
					97日	圃場B : <0.002(#)
すいか (果実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植前1回・土壌表面散布 生育期(トネ除去前)1~2回・畦間 土壌表面散布	1+2回	42日	圃場A : <0.001(#)
				1+1回	50日	圃場B : <0.001(#)
メロン (果実)	2	44.5%乳剤	200mL, 300mL/10a 定植前1回・土壌表面散布 生育期(トネ除去前)1回・畦間土 壌表面散布	1+1回	40日	圃場A : <0.001
					31日	圃場B : <0.001
メロン (果実)	2	2.5%粒剤	3kg/10a+5kg/10a 定植前1回・土壌表面散布+ 生育期(トネ除去前)1回・畦間土 壌表面散布	1+1回	40日	圃場A : <0.001
					31日	圃場B : <0.001
もも (果肉)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 土壌表面散布	2回	31日	圃場A : <0.002
					20日	圃場B : <0.002(2回, 20日)(#)
もも (果皮)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 土壌表面散布	2回	31日	圃場A : <0.002
					20日	圃場B : 0.004(2回, 20日)(#)
なし (果実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 土壌表面散布	2回	35日	圃場A : <0.002
					35日	圃場B : <0.002
りんご (果実)	2	2.5%粒剤	9kg/10a 土壌表面散布	1回	150日	圃場A : <0.001(#)
					161日	圃場B : <0.001(#)
ぶどう (果実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 土壌表面散布	2回	21日	圃場A : <0.002(#)
					23日	圃場B : <0.002(#)
なたね (種子)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	305日	圃場A : <0.002
					208日	圃場B : <0.002
ピーマン (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植直後・畦間土壌表面散布	1回	93日	圃場A : <0.002
					86日	圃場B : <0.002
ピーマン (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植直後・畦間土壌表面散布	1回	101日	圃場A : <0.005
					34日	圃場B : <0.005

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
かぼちゃ (果実)	2	2.5%粒剤	2kg/10a+ 5kg/10a 定植前1回・土壌表面散布+ 生育期(トネリ除去前)1回・畦間土 壌表面散布	1+1回	58日	圃場A : <0.002
					47日	圃場B : <0.002
きゅうり (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	73日	圃場A : <0.004(#)
					68日	圃場B : <0.004(#)
きゅうり (果実)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植前・土壌表面散布	1回	27日	圃場A : <0.002(#)
					32日	圃場B : <0.002(#)
トマト (果実)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植前・土壌混和处理	1回	120日	圃場A : <0.002
					78日	圃場B : <0.002
トマト (果実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植前・土壌混和处理	1回	42日	圃場A : <0.001(#)
					60日	圃場B : <0.001(#)
トマト (果実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植直後・畦間土壌表面散布	1回	55日	圃場A : <0.001(#)
					57日	圃場B : <0.001(#)
なす (果実)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植後・畦間土壌表面散布	1回	36, 78日	圃場A : <0.002(1回, 36日) (#)
					53, 93日	圃場B : <0.002(1回, 53日) (#)
なす (果実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植直後・畦間土壌表面散布	1回	41日	圃場A : <0.001(#)
					52日	圃場B : <0.001(#)
ゆうがお (果実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植18~30日後・土壌表面散布	1回	66日	圃場A : <0.002(#)
					80日	圃場B : <0.002(#)
さやいんげん (さや)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種直後・土壌表面散布	1回	73日	圃場A : <0.002
		2.5%粒剤	6kg/10a は種前・土壌表面散布	1回	64日	圃場B : <0.002
えだまめ (子実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種前・土壌表面散布	1回	111日	圃場A : <0.002(#)
		2.5%粒剤	6kg/10a は種前・土壌混和处理	1回	111日	圃場B : <0.002(#)
えだまめ (さや)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種前・土壌表面散布	1回	111日	圃場A : <0.002(#)
		2.5%粒剤	6kg/10a は種前・土壌混和处理	1回	111日	圃場B : <0.002(#)
えだまめ (子実)	1	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	101日	圃場A : <0.002
えだまめ (さや)	1	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	101日	圃場A : <0.002
えだまめ (さや)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植前1回・土壌表面散布 生育期2回・畦間土壌表面散布	3回	45日	圃場A : <0.01(#)
			400mL/10a 定植前1回・土壌表面散布 生育期1回・畦間土壌表面散布	2回	43日	圃場B : <0.01(#)
キャベツ (可食部)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植前・土壌表面散布	1回	91日	圃場A : <0.002
			5kg/10a 定植前・土壌混和处理	1回	91日	圃場A : <0.002(#)
			68日	圃場B : <0.002(#)		
キャベツ (可食部)	1	2.5%粒剤	6kg/10a 定植前・土壌表面散布	1回	62日	圃場A : <0.001
キャベツ (可食部)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植後・畦間土壌表面散布	1回	68日	圃場A : <0.001(#)
					63日	圃場B : <0.001(#)
はくさい (可食部)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植前・土壌混和处理	1回	50日	圃場A : <0.002(#)
					58日	圃場B : <0.002(#)
はくさい (可食部)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種直後・土壌表面散布	1回	76日	圃場A : <0.001(#)
					69日	圃場B : <0.001(#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
はくさい (可食部)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植前・土壌表面散布	1回	77日	圃場A : <0.001 (#)
					86日	圃場B : <0.001 (#)
アスパラガス (茎部)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 萌芽直前、5日前、10日前 土壌表面散布	1回	32, 35, 42日	圃場A : <0.002 (1回, 32日)
					27, 32, 37日	圃場B : <0.002 (1回, 27日)
レタス (茎葉)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植後・土壌表面散布	1回	39, 49, 60日	圃場A : 0.006 (1回, 39日) (#)
					41, 49, 61日	圃場B : 0.019 (1回, 41日) (#)
レタス (茎葉)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 定植前・土壌表面散布	1回	67日	圃場A : <0.002 (#)
					104日	圃場B : <0.002 (#)
ねぎ (葉)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植後・土壌表面散布	1回	207日	圃場A : <0.004
					83日	圃場B : <0.004
ねぎ (茎葉)	2	44.5%乳剤	300mL/10a	1回	46日	圃場A : <0.01
					182日	圃場B : <0.01
			定植後・土壌表面散布	2回	30, 40日	圃場A : <0.01
					28, 45日	圃場B : <0.01 (2回, 45日)
大根 (葉)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種後・土壌表面散布	1回	68日	圃場A : <0.004 (#)
					53日	圃場B : <0.004 (#)
大根 (根)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種後・土壌表面散布	1回	68日	圃場A : <0.004 (#)
					53日	圃場B : <0.004 (#)
ごぼう (根)	2	44.5%乳剤	400mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	194日	圃場A : <0.002 (#)
					161日	圃場B : <0.002 (#)
しょうが (塊茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付直後・土壌表面散布	1回	159日	圃場A : <0.002 (#)
					182日	圃場B : <0.002 (#)
にんじん (根)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種直後・土壌表面散布	1回	133日	圃場A : 0.008
					5kg/10a は種前・土壌混和处理	1回
			96日	圃場B : 0.046 (#)		
にんじん (根)	2	14.0%乳剤	1000mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	106日	圃場A : 0.010 (#)
					90日	圃場B : 0.010 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植前・土壌混和处理+ 生育期・土壌表面散布	2回	73日	圃場A : <0.004 (#)
					90日	圃場B : <0.004 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 定植後・土壌表面散布	2回	77日	圃場A : <0.001 (#)
					42日	圃場B : <0.001 (#)
にんにく (鱗茎)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 植付後及び春期生育期 土壌表面散布	2回	94日	圃場A : <0.002 (#)
					104日	圃場B : <0.002 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付後及び春期生育期 土壌表面散布	2回	65日	圃場A : <0.001 (#)
					84日	圃場B : 0.005 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 植付後及び春期生育期 土壌表面散布	2回	110日	圃場A : <0.002 (#)
					108日	圃場B : <0.002 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付後及び春期生育期 土壌表面散布	2回	110日	圃場A : <0.002 (#)
					108日	圃場B : <0.002 (#)
かんしょ (塊茎)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 挿苗後・土壌表面散布	1回	131日	圃場A : <0.001
					141日	圃場B : <0.001
かんしょ (塊茎)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 生育期・畦間土壌表面散布	2回	60日	圃場A : <0.01
					圃場B : <0.01	
かんしょ (塊茎)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 挿苗前1回、挿苗後2回 土壌表面散布	1+2回	60, 76, 91日	圃場A : <0.01
					60, 75, 90日	圃場B : <0.01

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】	
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
こんにゃく (球茎)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 植付直後及び中耕培土後 土壌表面散布	2回	133日	圃場A : <0.002	
			6kg/10a 植付直後・土壌表面散布	1回	142日	圃場B : <0.002	
			6kg/10a 植付前・土壌混和处理	1回	154日	圃場B : 0.005(#)	
こんにゃく (球茎)	1	2.5%粒剤	6kg/10a 植付直後及び中耕培土後 土壌表面散布	2回	139日	圃場A : 0.003	
さといも (塊茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付7日後・土壌表面散布	1回	161日	圃場A : <0.002	
			400mL/10a 植付17日後・土壌表面散布	1回	170日	圃場B : 0.007(#)	
さといも (塊茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付7日後・土壌表面散布	1回	118, 165日	圃場A : <0.002(1回, 118日)	
					182, 193日	圃場B : <0.002(1回, 182日)	
ばれいしょ (塊茎)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 萌芽前・土壌表面散布	1回	107日	圃場A : 0.007	
					100日	圃場B : <0.001	
ばれいしょ (塊茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 萌芽前・土壌表面散布	1回	104日	圃場A : <0.002(#)	
					90日	圃場B : <0.002(#)	
やまのいも (塊茎)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 植付直後又は植付30日後 土壌表面散布	1回	161, 191日	圃場A : <0.001(1回, 161日)(#)	
			400mL/10a 植付直後及び植付30日後 土壌表面散布	2回	164日	圃場B : <0.001(#)	
だいず (子実)	1	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	148日	圃場A : <0.002(#)	
			6kg/10a は種前・土壌混和处理	1回	148日	圃場A : <0.002(#)	
だいず (子実)	1	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	130日	圃場A : <0.002(#)	
だいず (子実)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 移植前1回・土壌表面散布 生育期2回・畦間土壌表面散布	1+2回	45日	圃場A : <0.01(#)	
			400mL/10a 移植前1回・土壌表面散布 生育期1回・畦間土壌表面散布	1+1回	41日	圃場B : <0.01(#)	
さやえんどう (さや)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種直後・土壌表面散布	1回	196日	圃場A : <0.002(#)	
					206日	圃場B : <0.002(#)	
さやえんどう (さや)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	56日	圃場A : <0.01	
					80日	圃場B : <0.01	
いんげんまめ (乾燥子実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後4日又は7日 土壌表面散布	1回	80日	圃場A : <0.002(#)	
					87日	圃場B : <0.002	
らっかせい (子実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	155日	圃場A : <0.002	
						109日	圃場B : <0.002
			300mL/10a は種前・土壌混和处理	1回	155日	圃場A : 0.007(#)	
					109日	圃場B : 0.002(#)	
らっかせい (子実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種32日後又は55日後 土壌表面散布	1回	82日	圃場A : 0.002(#)	
					76日	圃場B : 0.006(#)	
あずき (子実)	2	2.5%粒剤	6kg/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	104日	圃場A : <0.002	
					115日	圃場B : <0.002	
あずき (子実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	117日	圃場A : 0.002	
					111日	圃場B : <0.002	

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 摘菜前・土壌混和处理	1回	21, 73日	圃場A : 0.013(1回, 21日) (#)
			20日	圃場B : 0.035 (#)		
茶 (製茶・熱湯抽出)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 摘菜前・土壌混和处理	1回	21, 73日	圃場A : <0.001(1回, 21日) (#)
			20日	圃場B : <0.001 (#)		
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 一番茶発芽前・土壌混和处理	1回	31日	圃場A : <0.002 (#)
			39日	圃場B : 0.028 (#)		
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 一番茶発芽前及び 二番茶発芽前・土壌混和处理	2回	27日	圃場A : <0.002 (#)
			31日	圃場B : 0.016 (#)		
茶 (浸出液)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 一番茶発芽前・土壌混和处理	1回	35, 84日	圃場A : <0.003(1回, 35日) (#)
			44, 91日	圃場B : <0.003(1回, 44日) (#)		
			400mL/10a 一番茶発芽前・土壌表面散布	1回	35, 84日	圃場A : <0.003(1回, 35日) (#)
			44, 91日	圃場B : <0.003(1回, 44日) (#)		
茶 (製茶)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 一番茶発芽前・土壌表面散布	1回	35, 84日	圃場A : <0.002(1回, 35日) (#)
			44, 91日	圃場B : <0.002(1回, 44日) (#)		
茶 (製茶)	2	44.5%乳剤	400mL/10a 一番茶摘採前及び摘採直後 土壌表面散布	2回	44日	圃場A : <0.002 (#)
			47日	圃場B : <0.002 (#)		
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶発芽前・土壌混和处理	1回	47日	圃場A : 0.006 (#)
			31日	圃場B : 0.008 (#)		
茶 (製茶・熱湯抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶発芽前・土壌混和处理	1回	47日	圃場A : <0.005 (#)
			31日	圃場B : <0.005 (#)		
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶発芽前・土壌表面散布	1回	47日	圃場A : 0.008 (#)
			31日	圃場B : 0.008 (#)		
茶 (製茶・熱湯抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶発芽前・土壌表面散布	1回	47日	圃場A : <0.005 (#)
			31日	圃場B : <0.005 (#)		
茶 (製茶・溶媒抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶摘採前及び摘採後 土壌表面散布	2回	41日	圃場A : 0.011 (#)
			29日	圃場B : <0.004 (#)		
茶 (製茶・熱湯抽出)	2	44.5%乳剤	500mL/10a 一番茶摘採前及び摘採後 土壌表面散布	2回	41日	圃場A : <0.005 (#)
			29日	圃場B : <0.005 (#)		
ズッキーニ (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植直後・畦間土壌表面散布	1回	35, 42, 49日	圃場A : 0.005(1回, 35日)
			31, 38, 45日	圃場B : <0.005(1回, 31日)		
こまつな (茎葉)	2	44.5%乳剤	100mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	34日	圃場A : <0.005 (#)
			36日	圃場B : <0.005 (#)		
			200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	34日	圃場A : <0.005
			36日	圃場B : <0.005		
かぶ (根)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	75日	圃場A : <0.01 (#)
			50日	圃場B : <0.01 (#)		
かぶ (葉)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	75日	圃場A : <0.01 (#)
			50日	圃場B : <0.01 (#)		
葉ごぼう (茎葉及び根)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 出芽前・土壌表面散布	1回	134日	圃場A : <0.004
			115, 126, 136日	圃場B : 0.008(1回, 115日)		
しろうり (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植前・土壌表面散布 生育期・畦間土壌表面散布	2回	14, 21, 28日	圃場A : <0.001 (#)
			14, 21日	圃場B : <0.001 (#)		
やまのいも(むかご) (珠芽)	2	44.5%乳剤	347mL又は349mL/10a 植付30日後・畦間土壌表面散布	1回	108日	圃場A : <0.05 (#)
			124日	圃場B : <0.05 (#)		
ブロッコリー (花蕾)	2	44.5%乳剤	350mL/10a 定植前・土壌表面散布	1回	69日	圃場A : <0.01 (#)
			61日	圃場B : <0.01 (#)		
みずな (地上部)	2	44.5%乳剤	200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	40, 45, 50日	圃場A : <0.005(1回, 40日)
			40, 45, 50日	圃場B : <0.005(1回, 40日)		

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
なばな (茎葉及び蕾)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種前又は定植前 土壌表面散布	1回	76日 (定植前)	圃場A : <0.005 (#)
					76日 (は種前)	圃場A : <0.005 (#)
なばな (茎葉及び蕾)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後又は定植後 畦間土壌表面散布	1回	61日 (定植後)	圃場A : 0.005 (#)
					75日 (は種後)	圃場A : 0.006 (#)
みょうが (花穂)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 萌芽前・土壌表面散布	1回	112, 126日	圃場A : <0.01 (1回, 112日)
					112, 126日	圃場B : <0.01 (1回, 112日)
とうがん (果実)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 生育期・畦間土壌表面散布	1回	45, 60, 75日	圃場A : 0.009 (1回, 60日)
					45, 85日	圃場B : <0.005
葉しょうが (生葉の付いた根茎)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 植付直後・土壌表面散布	1回	120, 127, 134日	圃場A : <0.005 (1回, 120日)
					76, 83, 90日	圃場B : <0.005 (1回, 76日)
たかな (茎葉)	2	44.5%乳剤	200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	60日	圃場A : <0.005
					69日	圃場B : <0.005
たいさい (茎葉)	2	44.5%乳剤	200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	68日	圃場A : <0.005
					71日	圃場B : <0.005
はなっこりー (花蕾)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植前・土壌表面散布+ 生育期・畦間土壌表面散布	1+1回	21, 28, 42日	圃場A : <0.005
					21, 28, 41日	圃場B : <0.005
食用べにばな (花)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	82日	圃場A : <0.005
					91日	圃場B : <0.005
みつば (茎葉)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	138日	圃場A : <0.005
					301日	圃場B : <0.005
			300mL/10a 生育期・畦間土壌表面散布	1回	22日	圃場A : 0.033 (#)
べにばないんげん (豆)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	150日	圃場A : <0.005
					150日	圃場B : <0.005
ひまわり (種子)	2	44.5%乳剤	300mL/10a は種後発芽前・土壌表面散布	1回	105日	圃場A : <0.005
					92日	圃場B : <0.005
まくわうり (果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植前・土壌表面散布+ 生育期・畦間土壌表面散布	1+1回	21, 35日	圃場A : 0.014 (2回, 21日) (#)
						圃場B : 0.006 (2回, 21日) (#)
はつかだいこん (根部)	2	44.5%乳剤	200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	26日	圃場A : <0.01
					35日	圃場B : <0.01
はつかだいこん (葉部)	2	44.5%乳剤	200mL/10a は種直後・土壌表面散布	1回	26日	圃場A : <0.01
					35日	圃場B : <0.01
さといも (葉柄)	2	2.5%粒剤	6kg/10a 植付5日後・土壌表面散布	1回	70, 85日	圃場A : <0.02 (1回, 70日)
						圃場B : <0.02 (1回, 70日)
さんしょう (葉部)	2	2.5%粒剤	5kg/10a 定植直後又は定植10日後 土壌表面散布	1回	90, 105, 120日 (直後)	圃場A : <0.04 (1回, 90日)
					90, 105, 120日 (10日後)	圃場B : <0.02 (1回, 90日) (#)
ふき (葉柄)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植直後・土壌表面散布	1回	81日	圃場A : <0.005
					115日	圃場B : <0.005
漬物用すいか (未成熟果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植前・土壌表面散布	1回	25日	圃場A : <0.005
					89日	圃場B : <0.005
漬物用メロン (未成熟果実)	2	44.5%乳剤	300mL/10a 定植前・土壌表面散布	1回	60日	圃場A : <0.005 (#)
					69日	圃場B : <0.005 (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

トリフルラリン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注)} (ppm) 【トリフルラリン】
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数	
からし菜 (種子)	1	2.5%粒剤	0.75 lb ai/A 植付前・土壌散布	1回	88日	圃場A : <0.01
	1			1回	110日	圃場A : <0.01
	1			1回	99日	圃場A : <0.01

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○			
小麦	0.1	0.1	○			
大麦	0.1	0.1	○			
ライ麦	0.1	0.1	○			
とうもろこし	0.05	0.05				
そば	0.05	0.05				
その他の穀類	0.1	0.1	○			
大豆	0.2	0.15	○			
小豆類	0.05	0.05	○			
えんどう	0.05	0.05				
そら豆	0.05	0.05				
らっかせい	0.2	0.15	○			
その他の豆類	0.05	0.05				
ばれいしょ	0.2	0.15	○			
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
かんしょ	0.05	0.05	○			
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○			
こんにゃくいも	0.05	0.05	○			
その他のいも類	0.05	0.05				
てんさい	0.05	0.05				
さとうきび	0.05	0.05				
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.05	0.05	○			<0.01(#),<0.01(#)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.1	0.1	○			
かぶ類の根	0.1	0.1	○			
かぶ類の葉	0.05	0.05	○			
西洋わさび	0.05	0.05				
クレソン	0.05	0.05				
はくさい	0.05	0.05	○			
キャベツ	0.1	0.1	○			
芽キャベツ	0.1	0.1				
ケール	0.05	0.05	○			
こまつな	0.05	0.05	○			
きょうな	0.05	0.05	○			
チンゲンサイ	0.05	0.05	○			
カリフラワー	3	3	○			
ブロッコリー	0.05	0.05	○			
その他のあぶらな科野菜	0.05	0.05	○			
ごぼう	0.05	0.05	○			
サルシフィー	0.05	0.05				
アーティチョーク	0.05	0.05				
チコリ	0.05	0.05				
エンダイブ	0.05	0.05				
しゅんぎく	0.05	0.05				
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	0.1	0.1	○			
その他のきく科野菜	0.05	0.05	○			
たまねぎ	0.05	0.05	○			
ねぎ(リーキを含む。)	0.1	0.1	○			
にんにく	0.05	0.05	○			
にら	0.05	0.05				
アスパラガス	0.1	0.1	○			
わけぎ	0.1	0.1	○			
その他のゆり科野菜	0.05	0.05	○			
にんじん	1	1	○			
パースニップ	0.05	0.05				
パセリ	0.05	0.05				
セロリ	0.05	0.05				
みつば	0.05	0.05	○			
その他のせり科野菜	0.05	0.05				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
トマト	0.1	0.1	○			
ピーマン	0.1	0.1	○			
なす	0.05	0.05	○			
その他のなす科野菜	0.05	0.05	○			
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.05	0.05	○			
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05	0.05	○			
しろうり	0.05	0.05	○			
すいか	0.05	0.05	○			
メロン類果実	0.05	0.05	○			
まくわうり	0.05	0.05	○			
その他のうり科野菜	0.05	0.05	○			
ほうれんそう	0.05	0.05				
たけのこ	2	2				
オクラ	0.05	0.05				
しょうが	0.05	0.05	○			
未成熟えんどう	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.05	0.05	○			
えだまめ	0.05	0.05	○			<0.01(#),<0.01(#)
マッシュルーム	0.05	0.05				
しいたけ	0.05	0.05				
その他のきのこ類	0.05	0.05				
その他の野菜	2	2	○			
みかん	0.05	0.05				
なつみかんの果実全体	0.05	0.05				
レモン	0.05	0.05				
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.05	0.05				
グレープフルーツ	0.05	0.05				
ライム	0.05	0.05				
その他のかんきつ類果実	0.05	0.05				
りんご	0.05	0.05	○			
日本なし	0.05	0.05	○			
西洋なし	0.05	0.05	○			
マルメロ	0.05	0.05				
びわ	0.05	0.05				
もも	0.05	0.05	○			
ネクタリン	0.05	0.05				
あんず(アプrikottを含む。)	0.05	0.05				
すもも(プルーンを含む。)	0.05	0.05				
うめ	0.05	0.05				
おうとう(チェリーを含む。)	0.05	0.05				
いちご	0.05	0.05				
ラズベリー	0.05	0.05				
ブラックベリー	0.05	0.05				
ブルーベリー	0.05	0.05				
クランベリー	0.05	0.05				
ハックルベリー	0.05	0.05				
その他のベリー類果実	0.05	0.05				
ぶどう	0.05	0.05	○			
かき	0.05	0.05				
バナナ	0.05	0.05				
キウイ	0.05	0.05				
パパイヤ	0.05	0.05				
アボカド	0.05	0.05				
パイナップル	0.05	0.05				
グアバ	0.05	0.05				
マンゴー	0.05	0.05				
パッションフルーツ	0.05	0.05				
なつめやし	0.05	0.05				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他の果実	0.05	0.05				
ひまわりの種子	0.2	0.15	○			
ごまの種子	0.05	0.05				
べにばなの種子	0.05	0.05				
綿実	0.05	0.05				
なたね	0.2	0.15	○			
その他のオイルシード	0.2	0.15				
ぎんなん	0.05	0.05				
くり	0.05	0.05				
ペカン	0.05	0.05				
アーモンド	0.05	0.05				
くるみ	0.05	0.05				
その他のナッツ類	0.05	0.05				
茶	0.05	0.05	○			
ホップ	0.05	0.05				
その他のスパイス	0.05	2		0.05	アメリカ	【<0.01(n=3)(米国からし菜の種子)】
その他のハーブ	0.2	2				<0.04,<0.02(#)(さんしょう葉)
牛の筋肉		0.05				
豚の筋肉		0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉		0.05				
牛の脂肪		0.05				
豚の脂肪		0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪		0.05				
牛の肝臓		0.05				
豚の肝臓		0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓		0.05				
牛の腎臓		0.05				
豚の腎臓		0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓		0.05				
牛の食用部分		0.05				
豚の食用部分		0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分		0.05				
乳		0.05				
鶏の筋肉		0.05				
その他の家きんの筋肉		0.05				
鶏の脂肪		0.05				
その他の家きんの脂肪		0.05				
鶏の肝臓		0.05				
その他の家きんの肝臓		0.05				
鶏の腎臓		0.05				
その他の家きんの腎臓		0.05				
鶏の食用部分		0.05				
その他の家きんの食用部分		0.05				
鶏の卵		0.05				
その他の家きんの卵		0.05				
魚介類	0.5	0.001	申			推:0.45
はちみつ		0.001				
ミネラルウォーター類	0.02	0.02		0.02 ^{注)}		

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

注)WHO飲料水水質ガイドラインのGuideline Valueに基づき設定(Guideline Value:WHOにおいて各国の規制当局と給水サービス提供者による飲料水水質の維持・向上を目的に設定されるWHO飲料水水質ガイドラインにおいて、飲料水水質を評価するための基礎となる数値であり、生涯にわたって摂取した場合、摂取者の健康に重大なリスクを起ささない濃度を示す。

トリフルラリン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.05	9.3	4.9	7.0	9.4
小麦	0.1	11.7	8.2	12.3	8.3
大麦	0.1	0.6	0.0	0.0	0.4
ライ麦	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.2	0.1	0.0
そば	0.05	0.2	0.0	0.1	0.2
その他の穀類	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
大豆	0.2	11.2	6.7	9.1	11.8
小豆類	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
えんどう	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の豆類	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.2	7.3	4.3	8.0	5.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.6	0.3	0.4	0.9
かんしょ	0.05	0.8	0.9	0.7	0.8
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.1	0.0	0.1	0.2
こんにやくいも	0.05	0.6	0.3	0.6	0.7
その他のいも類	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.05	0.2	0.2	0.2	0.2
さとうきび	0.05	0.7	0.6	0.5	0.6
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.05	2.3	0.9	1.4	2.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3
かぶ類の根	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4
かぶ類の葉	0.05	0.0	0.0	0.0	0.1
西洋わさび	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.05	1.5	0.5	1.1	1.6
キャベツ	0.1	2.3	1.0	2.3	2.0
芽キャベツ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.05	0.2	0.1	0.1	0.3
きょうな	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
チンゲンサイ	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
カリフラワー	3	1.2	0.3	0.3	1.2
ブロッコリー	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
その他のあぶらな科野菜	0.05	0.1	0.0	0.0	0.2
ごぼう	0.05	0.2	0.1	0.1	0.3
サルシフィー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
エンダイブ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.05	0.1	0.0	0.1	0.2
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.1	0.6	0.3	0.6	0.4
その他のきく科野菜	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
たまねぎ	0.05	1.5	0.9	1.7	1.1
ねぎ (リーギを含む。)	0.1	1.1	0.5	0.8	1.4
にんにく	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
アスパラガス	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
わけぎ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.05	0.0	0.0	0.0	0.1
にんじん	1	24.6	16.3	25.1	22.3
パースニップ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
トマト	0.1	2.4	1.7	2.5	1.9
ピーマン	0.1	0.4	0.2	0.2	0.4
なす	0.05	0.2	0.0	0.2	0.3
その他のなす科野菜	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (カーキンを含む。)	0.05	0.8	0.4	0.5	0.8
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.05	0.5	0.3	0.3	0.6
しろうり	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.05	0.0	0.0	0.01	0.0
まくわうり	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.05	0.0	0.0	0.1	0.0
ほうれんそう	0.05	0.9	0.5	0.9	1.1
たけのこ	2	4.0	1.4	5.2	3.4
オクラ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1
えだまめ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
マッシュルーム	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
しいたけ	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
その他のきのこ類	0.05	0.5	0.2	0.4	0.5
その他の野菜	2	25.2	19.4	19.2	24.4
みかん	0.05	2.1	1.8	2.3	2.1
なつみかんの果実全体	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
レモン	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
グレープフルーツ	0.05	0.1	0.0	0.1	0.0
ライム	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
りんご	0.05	1.8	1.8	1.5	1.8
日本なし	0.05	0.3	0.2	0.3	0.3
西洋なし	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01
マルメロ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.05	0.0	0.0	0.2	0.0
ネクタリン	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アプリコットを含む。)	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも (プルーンを含む。)	0.05	0.0	0.0	0.1	0.0
うめ	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
おうとう (チェリーを含む。)	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
いちご	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ラズベリー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クランベリー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	0.05	0.3	0.2	0.1	0.2
かき	0.05	1.6	0.4	1.1	2.5
バナナ	0.05	0.6	0.6	0.4	0.9
キウイ	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1
パイヤ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
パイナップル	0.05	0.0	0.1	0.0	0.0
グアバ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
なつめやし	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	0.05	0.2	0.3	0.1	0.1
ひまわりの種子	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
べにばなの種子	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.2	1.7	1.0	1.6	1.1
その他のオイルシード	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.05	0.0	0.1	0.0	0.0
ペカン	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
ホップ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
魚介類	0.5	47.1	21.4	47.1	47.1
計		172.4	100.8	158.7	165.3
ADI比 (%)		13.5	26.6	11.9	12.7

高齢者及び妊婦については水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。
TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

昭和41年	2月26日	初回農薬登録
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成20年	3月21日	農林水産省より厚生労働省へ基準値設定依頼（魚介類）
平成21年	3月24日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	1月26日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	7月13日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成24年	7月25日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当主任研究員
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野 育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)

答申(案)

トリフルラリン

食品名	残留基準値
	ppm
米(玄米をいう。)	0.05
小麦	0.1
大麦	0.1
ライ麦	0.1
とうもろこし	0.05
そば	0.05
その他の穀類 ^{注1)}	0.1
大豆	0.2
小豆類 ^{注2)}	0.05
えんどう	0.05
そら豆	0.05
らっかせい	0.2
その他の豆類 ^{注3)}	0.05
ばれいしょ	0.2
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05
かんしょ	0.05
やまいも(長いもをいう。)	0.05
こんにゃくいも	0.05
その他のいも類 ^{注4)}	0.05
てんさい	0.05
さとうきび	0.05
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.1
かぶ類の根	0.1
かぶ類の葉	0.05
西洋わさび	0.05
クレソン	0.05
はくさい	0.05
キャベツ	0.1
芽キャベツ	0.1
ケール	0.05
こまつな	0.05
きょうな	0.05
チンゲンサイ	0.05
カリフラワー	3
ブロッコリー	0.05
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	0.05
ごぼう	0.05
サルシフィー	0.05
アーティチョーク	0.05
チョコリ	0.05
エンダイブ	0.05
しゅんぎく	0.05
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	0.1
その他のきく科野菜 ^{注6)}	0.05
たまねぎ	0.05
ねぎ(リーキを含む。)	0.1
にんにく	0.05
にら	0.05
アスパラガス	0.1
わけぎ	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	0.05

注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チョコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注7)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

トリフルラリン

食品名	残留基準値
	ppm
にんじん	1
パースニップ	0.05
パセリ	0.05
セロリ	0.05
みつば	0.05
その他のせり科野菜 ^{注8)}	0.05
トマト	0.1
ピーマン	0.1
なす	0.05
その他のなす科野菜 ^{注9)}	0.05
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.05
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05
しろうり	0.05
すいか	0.05
メロン類果実	0.05
まくわうり	0.05
その他のうり科野菜 ^{注10)}	0.05
ほうれんそう	0.05
たけのこ	2
オクラ	0.05
しょうが	0.05
未成熟えんどう	0.05
未成熟いんげん	0.05
えだまめ	0.05
マッシュルーム	0.05
しいたけ	0.05
その他のきのこ類 ^{注11)}	0.05
その他の野菜 ^{注12)}	2
みかん	0.05
なつみかんの果実全体	0.05
レモン	0.05
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.05
グレープフルーツ	0.05
ライム	0.05
その他のかんきつ類果実 ^{注13)}	0.05
りんご	0.05
日本なし	0.05
西洋なし	0.05
マルメロ	0.05
びわ	0.05
もも	0.05
ネクタリン	0.05
あんず(アプリコットを含む。)	0.05
すもも(プルーンを含む。)	0.05
うめ	0.05
おうとう(チェリーを含む。)	0.05
いちご	0.05
ラズベリー	0.05
ブラックベリー	0.05
ブルーベリー	0.05
クランベリー	0.05
ハックルベリー	0.05
その他のベリー類果実 ^{注14)}	0.05
ぶどう	0.05
かき	0.05

注8)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。

注12)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注13)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注14)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

トリフルラリン

食品名	残留基準値
	ppm
バナナ	0.05
キウイ	0.05
パパイヤ	0.05
アボカド	0.05
パイナップル	0.05
グアバ	0.05
マンゴー	0.05
パッションフルーツ	0.05
なつめやし	0.05
その他の果実 ^{注15)}	0.05
ひまわりの種子	0.2
ごまの種子	0.05
べにばなの種子	0.05
綿実	0.05
なたね	0.2
その他のオイルシード ^{注16)}	0.2
ぎんなん	0.05
くり	0.05
ペカン	0.05
アーモンド	0.05
くるみ	0.05
その他のナッツ類 ^{注17)}	0.05
茶	0.05
ホップ	0.05
その他のスパイス ^{注18)}	0.05
その他のハーブ ^{注19)}	0.2
魚介類	0.5
ミネラルウォーター類	0.02

注15)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注16)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注17)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注18)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注19)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。